

## 活動の約束事 (ボランティア用)

### 【子どもたちとのよりよい接し方について】

- ①どの子にも公平に接し、子どもの声にしっかりと耳を傾けましょう
- ②おおらかな気持ちで接し、子どもたちの良いところをほめましょう
- ③丁寧な言葉づかいで、はっきり、ゆっくりと話すようにしましょう
- ④困ったこと、わからないことがあるときは、気軽にコーディネーターや教職員に相談しましょう。

特に、落ち着きのない子や反抗期の子などとの接し方を教職員に学ぶことによって、子どもたちとよりよい関係をつくることができます。

また、相談することで、お互いのコミュニケーションも図れます。

### 【守らなければならないルールについて】

- ①名札の着用や職員室への声かけなど、学校のルールを事前に確認し、ルールはしっかりと守りましょう。
- ②活動の中で子どもや教職員の個人情報にふれることがあります。子どもや教職員一人一人を大切にするため、自分の家族や友人などにも、活動中に知り得た情報は、どんな小さいことであっても話をしてはいけません。
- ③学校や教職員、他のボランティアの批判などは、子どもの前でも学校以外でも絶対に話さないようにしましょう。気がついたこと、気になることは気軽に学校支援コーディネーターや学校の教職員に伝えましょう。
- ④いかなる場合でも、暴言や体罰は禁止です。
- ⑤学校の授業は決められた日課にそって行われます。打ち合わせた時間に行き、決められた時間内に終了することを心がけてください。
- ⑥写真撮影、写真データの掲載等は学校、個人の了承を取りましょう。また、データの外部の持ち出しは原則禁止です。
- ⑦たより等でネット上にあるイラスト等を使用する場合は著作権に注意してください。
- ⑧子どもと密室で1対1になったり、個人的に連絡先を交換したりするなど誤解を招く行動はしないようにしましょう。



## ボランティア活動について

### <4つの原則>

#### 自分からすすんで行動する 「自主性・主体性」

ボランティア活動は、自分自身の考えによって始める活動であって、誰かに強制されたり、また、義務として行わせる活動ではありません。きっかけはいろいろでも、自分自身の「やってみよう」という気持ちを大切にすることから、ボランティア活動がはじまります。

#### ともに支え合い、学び合う 「社会性・連帯性」

私たちの社会には、様々な課題が存在します。こうした課題を発見し、改善していくためには、一人一人が考えることと、多くの人々が協力しながら力を合わせて行動することが大切です。

#### 見返りを求めない 「無償性、無給性」

ボランティア活動は、活動目的の達成によって、出会いや発見、感動、そして喜びといった精神的な報酬を得る活動であり、個人的な利益や報酬を第一の目的にした活動ではありません。

#### よりよい社会をつくる 「創造性・開拓性・先駆性」

目の前の課題に対して、何が必要なのか、そして、改善のためにはどうすればよいか、ボランティア活動では、従来の考えにとらわれることなく、自由な発想やアイデア大切にしながら、方法やしくみを考え、創り出していくことが大切です。

### 学校支援ボランティアを行うにあたって

・子どもは素直でかわいいです。でも、うまくいかないことも多いです。先生も苦労しています。協力して子どもを育てましょう。

- ・公平に（ダメなことダメ、ほめるときはほめる）
- ・うまくいかないことは、協力、工夫で（コミュニケーション）
- ・秘密を守る（個人情報）

いろいろあると思いますが、**楽しんで！**

